

動画週刊誌「週刊西田」 西田昌司がズバッと答える一問一答

「ライドシェア賛成 or 反対のどちらでしょうか？
反対ならどの様な代替え案をお考えでしょうか？」

令和5年10月28日

●たなべともこさんからの質問

西田さんとしてはライドシェア賛成 or 反対のどちらでしょうか？反対ならどの様な代替え案をお考えでしょうか？ご回答お願いします。

●西田昌司の答え

私はライドシェア*1 に反対です。

ライドシェアについては、10月25日の参議院本会議で、立憲民主党の田名部匡代議員が質問をしており、ライドシェアを導入している国で性的暴行被害が発生している旨を述べて、警鐘を鳴らす立場で岸田総理に質問をしていました。私の隣に自民党の猪口邦子議員が座っていて、この件についての意見を交換しましたが、猪口議員も性的暴行被害の危険を憂っていました。

タクシー運転手が女性客に暴行を加えるという事件が過去に何度もありましたが、タクシー運転手の場合、会社名や氏名が車内に明記されていますし、結局は捕まることとなります。タクシー運転手の場合は会社を背負っていますし、そんな事件を起こしてしまえば後から受ける社会的制裁が恐ろしくてそれが歯止めにもなりますが、ライドシェアの場合はより簡単に踏み外してしまえるでしょう。客の男女と、男の運転手が車内の空間に居合わせて、男二人が共謀して女性を襲うなんてことが発生したら本当に恐ろしいことにな

*1 一般のドライバーが自家用車で、有料で客を運ぶこと。タクシー運転手の人手不足を解消するために検討されている。スマートフォンのアプリやソーシャルサービスを通じて、目的地を同じくする運転手と相乗り希望者間でやり取りされる。

ります。

ライドシェアによって確かに利便性は上がるでしょうが、事件が発生した時に誰が責任を負うかといった点がまだはっきりとしていない現時点でライドシェアを解禁するのは時期尚早と思います。また、そのうちにタクシーというものの自体がなくなる可能性もあります。

アメリカでは、テスラという電気自動車メーカーが完全自動運転を目指していますし、もしもそれが実用化すれば無人タクシー業が成立してしまいます。タクシー利用者がネット上で乗車地点と目的地点を入力したら、無人タクシーが出発して乗車地点で利用者を拾って目的地点まで運ぶといったことが数年で出来てしまう可能性は大いにあります。そうなると、運転手不足は一気に解消されてしまいます。

テスラの電気自動車のオーナーはアメリカにごまんとおり、オーナーの乗らない時間帯に無人タクシーとして活用すれば収入源にもなりますし、こういった方法での人手不足解消の方がライドシェアよりもよほど安全で望ましいと思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>